

平成31年度 租税教育事業実績報告書

委 嘱 校 名	川南町立 唐瀬原中学校
所 在 地	〒 889-1301 電話番号 0983-27-0044 児湯郡川南町大字川南 19664-1
ふ り が な 校 長 名	かい よしのり 甲 斐 義 則
ふ り が な 担 当 教 諭 名	しみずのぶゆき 清 水 延 幸
<p>1 租税教育の成果</p> <p>7月19日、3年生を対象にした租税教室では、税に関する手作りプレゼンを用いて、川南町税務担当の方を講師に授業を行った。生徒は税金が自分の身近な生活に結びついていることを知ることができた。また、消費税率が10%に上がった理由について考察することで、改めて税の役割を学ぶことができた。また、3年生を対象に夏休みの課題として「税に関する作文」に取り組んだ。社会科の公民分野では、「地方財政」や「政府の経済活動と租税」の単元は11月に学習予定であったが、昨年度の「税に関する作文」文集を参考に作文に取り組んだ。全員が期日までに提出することができ、税に関する関心の高さがうかがえた。</p> <p>2 租税教育についての反省</p> <p>本校では租税教育を3年生を対象に行っている。教育課程の編成や総合的な学習の時間(本校では、「フロンティア・タイム」)の関係で、どうしても3年生を中心に租税教育を実施せざるを得ないのが現状である。</p> <p>1・2年生については、「税に関する中高生の親子短歌等コンクール」に取り組んだ。標語・川柳作品32点を校内審査を経て応募することができた。</p> <p>3 租税教育についての今後の課題</p> <p>作品募集が作文のみとなり、生徒の発達段階を考慮すると、3学年に夏休みの課題として「税に関する作文」を課すことにした。</p> <p>1・2年生には社会科(歴史的分野)の学習を通じ、古代律令制の税制である租・調・庸からしっかり学習させていきたい。社会科を中心とした学習指導だけでなく、さらに他の教科での学習指導をどう進めていくのか研究を深めていく必要がある(教職員の研修、学級活動・フロンティアタイムでの取組など)。</p> <p>川南町の地域を考える学習で、税に関する内容と関連づけて学習できないものか、現在検討中である。例えば、「川南町怪トラ市の更なる活性化と税とのかかわり」「川南運動公園におけるスポーツキャンプ誘致と税とのかかわり」等。</p>	